

2016.11 清心人間/予想問題 4

日本は人口減少社会に入った。人口が減ることは地域社会にどのような影響を与えるだろうか。また、地域社会を維持するためにどのような方策が考えられるだろうか。あなたの考えを600字以内で述べよ。

人口減少は地域社会にどのような影響を及ぼすのだろうか。現在でも商店や病院、学校、金融機関などがなくなり、社会生活が維持できなくなる「限界集落」が日本各地に広がっている。また、少子化や人口移動に歯止めがかからずに消滅の恐れがある「消滅可能性都市」という言葉も現実味を帯びている。

地域社会が衰退すれば、そこに伝わっていた祭りや行事が伝承されなくなる。歴史的な建造物を維持することが難しくなり、地域固有の方言も廃れていくだろう。また、水田や畑は耕作放棄地となり、イノシシやクマなど獣が繁殖するようになるかもしれない。さらに、植林された山は人手をかけなければ、廃止し、少しの雨でも土砂崩れなどの自然災害が起こりやすくなる。

では、どのような対策が感えられるだろうか。私は2つの点を指摘したい。

第一は、集住だ。故郷への住民の愛着に配慮しつつ、社会生活を維持できなくなった限界集落の住民たちを時間をかけて拠点地区に集めていく。そして、そこで社会生活の機能を維持していく。こうすれば、住民間に新たな絆が生まれ、文化や伝統を維持することができると思う。

第二は、価値観の転換だ。東京への一極集中に見られるように、現在の日本では価値観の多様化が進んでいるようで、実は画一化が進んでいるのではない。異質なものを排除し、他人と同じであることに安心感を覚える人が増えている。人口減少に加えて、若者が地域から人口が流出する背景には、都市を過大評価し、地域を過小評価するという画一的な価値観が広がっている。

私は社会は生き物のようなものだと考える。病気にもなるし、回復もする。ただ、人間がいる限り、なくなるということはない。もしかしたら、いまの日本が肥満状態で、人口減少はそれがスリム化している過程なのかもしれない。大切なのは、地域社会に暮らす住民がいかに健康で充実した生活を営むことができるかという視点であって、人口が増えるか減るかは最優先の問題ではないということだ。